



# 民主党千葉市議会議員団

## 障害者の社会参加に向けた支援は

**問** 国が障害者権利条約※1を批准して1年が経過し、本市でも次期障害者計画、障害福祉計画の策定作業が進められている。条約の批准は、計画案にどう反映されているのか。

また、障害者の社会参加は、「全ての人々が、障害の有無に関わらず人格と個性を尊重しあいながら共生する社会」の実現に向けて欠かせないが、今後の取り組みは。

**答** 条約批准を受け、次期計画案の基本理念に基本的人権の尊重と、差別と社会的障壁のない共生社会を目指す旨を加えるとともに、「社会参加の一層の推進」という新たな基本目標を定め、取り組みを強化する。



市内で開催された車椅子バスケットボール大会

障害者の社会参加に向けて、障害のある人とない人とが相互に理解を深めるための交流事業の実施や正しい理解の普及・啓発に取り組むほか、障害者が積極的に社会経済活動に参加できるよう、文化・スポーツ活動等の機会を確保していくとともに、就労に向けた支援の充実に取り組んでいく。

また、障害者の社会参加を阻害する社会的障壁の具体的内容や、除去に向けた本市としての考え方等について、障害者団体等の意見を広く聞きながら検討を進めていく。

## 新年度予算を反映した主要債務総額の見込みは

**問** 予算編成は、約138億円もの収支不足が見込まれた厳しい状況であったが、建設事業債等残高、債務負担行為支出予定額、基金借入金残高と国民健康保険事業累積赤字額の4つの合計である主要債務総額の削減見込みは。

**答** 平成27年度末で前年度と比較して、普通会計での建設事業債等の市債残高は152億円減、建設事業に係る債務負担行為の支出予定額は75億円減、基金からの借入残高は5億円減となる見込みである。国民健

康保険事業累積赤字額は、予算上は単年度の収支不足を補てんすることとしているが、執行段階で削減に努める。主要債務の総額では、232億円減の、5,604億円となる見込みである。

## 生活排水処理対策は

**問** 生活排水は市内の主要河川に流入し、水質汚濁の原因となるため、適切に管理し、美しい川や海を守ることが重要である。次期生活排水処理基本計画策定の考え方は。

**答** 長期的かつ総合的視点で計画的に生活排水処理対策を行うため、平成28年3月を目途に、計画処理区域内の生活排水の処理方法や処理過程で発生する汚泥の処理方法についての基本方針等を定めることとしている。目標年次は概ね10年後とし、市全体の生活排水処理率を目標として設定するほか、公共下水道、農業集落排水施設、合併処理浄化槽※2のそれぞれの処理人口の指標等について調整し、全市域の生活排水の適切な処理を推進したい。

公共下水道や農業集落排水施設の整備に適さない地域は、合併処理浄化槽整備区域となることから、本計画に基づき、国の交付金を活用し、合併処理浄化槽の設置を促進する。

# 未来創造ちば



## 防災・減災対策は

**問** 防災・減災対策では、自助・共助・公助の取り組みの強化や、地震の揺れによる液状化のメカニズムを考慮した対策が不可欠である。2014年版全国地震動予測地図の今後30年以内に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率をどう捉え、自助・共助・公助にどう取り組むのか。また、美浜区の液状化対策や、今後想定される地震への液状化対策は。

**答** 本市は、県庁所在地の中でも2番目に高い値であり、速やかに災害対策を進める必要がある。これまで、学校施設等の耐震化や自主防災組織の育成促進などに取り組んできたが、今後も、自助・共助・公助の各分野で、防災・減災対策を継続し、より一層安全で災害に強いまちづくりを進める。

震災で液状化した美浜区の一部の地域では、道路と宅地の一体的な液状化対策を進めている。液状化の要因には、緩い砂質土層、地下水位、地震動などがあるが、地震動の大きさや継続時間によっても発生が左右される。このため、液状化の可能性のある地域で住宅を建築する際は、十分な地盤調査を実施の上、地盤改良などの対策が重要であり、市は工法などを、積極的に広報、啓発を行う。また、既存住宅におい

ては、国や大学などの研究機関の研究結果や施工例の情報を収集して市民に広報していく。

## 千葉氏を都市アイデンティティとして確立する戦略は

**問** 千葉氏を都市アイデンティティ※3として確立するための戦略は。また、千葉氏や加曾利貝塚、海辺のほか、内陸部の緑豊かな自然や本市の発展を支えてきた工業などの地域資源についても、取り組む考えがあるのか。

**答** 「古いものと新しいもの、都会と田舎、様々な融合が魅力を生む街」というイメージとの関連も強く、本市の歴史上欠かせない千葉氏について、2026年の千葉開府900年などに向け、その魅力を掘り起し、多くの人に認知・実感してもらう方策を今後策定予定の戦略プランに位置付けていく。また、全国の千葉氏ゆかりの都市との連携の準備や、ガイドブック・ポスターなどの作成を行うほか、郷土博物館で、歴史講座や企画展等を予定している。



千葉県立郷土博物館にある千葉常胤像

千葉氏や加曾利貝塚、海辺を軸とした取り組みが具体的に整理できた段階で、内陸部の自然や工業などについても検討したい。

## 東京オリンピック・パラリンピックに向けた取り組みは

**問** 東京オリンピック・パラリンピックに向け、本市の地理的優位性や充実したスポーツ施設・宿泊施設を最大限活用した取り組みが期待されるが、これまでと来年度の取り組みは。

**答** 平成25年11月にプロジェクト推進本部を設置し、昨年8月には基本方針を策定した。今後、各取り組みの概要などを示す行動計画の26年度内策定を目指す。また、取り組みの中で、本市での車椅子バスケットボールやウィルチェアーラグビーの国際大会の開催が決まった。

来年度は、国内外の競技団体や有力国へのキャンプの誘致活動や、国際交流ボランティアの育成などを進める。また、市内開催の国際大会の支援は、外国選手団の受け入れノウハウの蓄積などの機会としたい。

### 用語解説

- ※1 障害者権利条約：障害者の人権や基本的自由の享有を確保し、障害者の固有の尊厳の尊重を促進するため、障害者の権利の実現のための措置等を規定している、障害者に関する初めての国際条約。市民的・政治的権利、教育・保健・労働・雇用の権利、社会保障、余暇活動へのアクセスなど、様々な分野における障害者の権利実現のための取り組みを締約国に対して求めている。
- ※2 合併処理浄化槽：トイレの汚水だけを浄化する単独処理浄化槽に対し、トイレだけでなく台所や洗濯機など家から出るすべての排水(雨水を除く)を浄化するタイプの浄化槽。単独処理浄化槽よりも浄化能力が高いうえ、家全体の排水をすべて処理するので、川や海など環境にやさしい浄化槽といえる。
- ※3 都市アイデンティティ：都市固有のイメージを確立し、市内外に発信していくため、今後都市が、戦略として中長期的な視点で一貫した施策展開を図る上で基本となる客観的な「その都市らしさ」をいう。